

東西交通軸の検討にかかる 参考事例

◆ 大小路シンボルロード整備事業 【約56億円】

整備目的

活気と潤いと安らぎのある道路空間により、都心地域の魅力ある街づくりの先導的な役割を担うことを目的に整備。

整備概要

- 【施行場所】 市道 大小路線（南海本線堺駅～南海高野線堺東駅間）
- 【総事業費】 約56億円（内 大小路歩道橋 約22億円）
- 【施行期間】 昭和59年度～平成11年度
- 【幅員構成】

区間	施行後	施行前
堺東～大小路橋	片側1車線 30m (13.5m-10.5m-6.0m)	片側3車線 30m (6.0m-18.0m-6.0m)
大小路橋～大道筋	片側1車線 30m (9.0m-12.0m-9.0m)	片側3車線 30m (6.0m-18.0m-6.0m)
大道筋～堺駅	片側1車線 25m (7.25m-10.5m-7.25m)	片側2車線 25m (5.0m-15.0m-5.0m)



施行前



施行後

◆ 阪堺線（堺市内区間）存続に係る堺市の支援 【約50億円】

支援目的

- ・ 長年市民に親しまれてきた堺市の顔ともいえるべき貴重な歴史的資源
- ・ 利便性の高い公共交通ネットワークの形成をめざす上で必要な公共交通機関
- ・ 福祉、環境、観光、文化、商業、業務のまちづくりを実現する上で必要な公共交通機関

◇ 利用者拡大策、安全運行の確保に必要な経費への支援（2億円／年）

項 目	
利用者拡大策への支援	ゾーンチケットへの支援
	高齢者利用割引への支援
	堺市内・大阪市内区間の均一運賃化への支援
安全運行の確保に必要な経費への支援	
資産保有コスト相当額の支援	



均一運賃化



堺おもてなしチケット

◇ 高度化、老朽化対策に必要な経費への支援（30億円／10年）

支 援 策	
高度化による利便性の向上	低床式車両の導入
	停留場増設・施設改善、電車優先信号、ICカード導入等
老朽化対策（国土交通省の保安監査対応含む）	



低床式車両（紫おん）

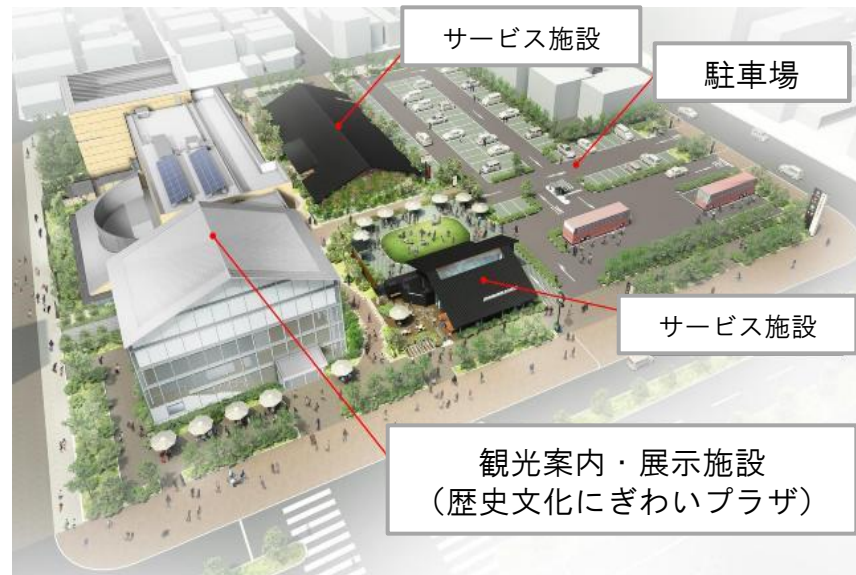
◆ 文化観光拠点の整備 【約36億円】

整備目的

堺の特色ある歴史文化を広く発信し観光集客に資するため、千利休・与謝野晶子をテーマとする公共施設と飲食等を提供する来訪者サービス施設を一体的に整備

整備概要

【施設名称】	堺市立歴史文化にぎわいプラザ
【設置場所】	堺市堺区宿院町西2丁1番
【施設規模】	敷地面積 8,711㎡
【敷地構成】	歴史文化にぎわいプラザ 4,134㎡（建築面積1,991㎡、延床面積3,405㎡） 駐車場 4,577㎡
【総事業費】	約36億円（道路など関連含む公共施設、民間施設は除く）
【開設予定】	平成27年3月中 堺市立歴史文化にぎわいプラザ開設予定



文化観光拠点の整備イメージ